



刻歩極頂

長井市立西根小学校
学校だより第19号
令和6年2月13日

「刻歩極頂」(こくほきょくちょう) 一歩一歩の歩みを大切に 頂上にたどり着く
長井市初代名誉市民 孫田 秀春 博士 揮毫

授業参観・学年部会総会ありがとうございました

保護者の皆様、先日は、授業参観、学年部会総会、PTA拡大理事会へのご来校、誠にありがとうございました。今年度最後の授業参観に、子供たちの一年間の成長を感じられる授業だったと思います。なお、各学年部会総会で担任より下記枠内のことについて連絡させていただきました。(裏面へ続く)

1 次年度の葉山登山について

- ・ 現段階では下記のとおり考えており、新年度の下見登山で最終判断とします。

<1・2年生> 例年通り古代の丘～大石沢

<3年生> 勸進代コースで、「展望台」(標高835m)まで

<4年生> 勸進代コースで、「勸進代分岐」(標高1050m)まで

※ 可能であれば「ロボット雨量計跡地」へ

<5年生> 勸進代コースで、「葉山神社」(標高1215m)まで

※ 可能であれば「お田代湿原」へ

<6年生> 勸進代コースで、「葉山神社」(標高1215m)まで

※ 可能であれば「奥の院」へ

2 年間教育計画での改善を検討中

- ・ 夏の暑さ対策・・・運動会を9/21(土) 西根地区体育祭は9/8(日)
- ・ 緩やかな年度初め・・・入学式を4/8(月) 最初の週を4時限
- ・ 年間を通して・・・6時限を可能な限り減らし、1日の中にゆとりを



授業参観の様子から 1年生 生活科



2年生 国語



3年生 総合的な学習の時間



4年生 総合的な学習の時間



5年生 音楽



6年生 社会科

(表面の続き) 学年部会総会では、「葉山登山は、保護者の全員参加が負担である」という意見がありました。2月2日(金)に行われたPTA執行部会でもこのことが話題になり、保護者は希望者参加であることを確認したところです。保護者の参加が多ければそれだけ心強くなりますが、例年以上に態勢を整えて臨みたいと考えております。ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【おめでとう】(敬称略)

令和5年度「ポイ捨て防止」「地球温暖化防止」啓発ポスターコンクール		
優秀賞	5年	6年
第42回全国児童画コンクール		
入選	1年	1年
優秀賞	2年	
店長賞	3年	6年

(令和5年度「ボランティア体験作文」小学生の部 入選)

私ができるボランティアをして

5年

私は、この作文を書くときに、「ボランティアって何だろう」と考えてみました。しかし、自分ではなかなか思いつかなかったので、先生に聞いてみました。そして、私の学校で運営委員会が行っているアルミかん回収がボランティア活動の一つだと教えてもらいました。

私は、運営委員会で副委員長をしています。運営委員会では、毎週水曜日と金曜日に、アルミかん回収をしています。持ってきたアルミかんはドラム缶の中に入れます。ドラム缶がいっぱいになったら、専門の業者さんにトラックで回収してもらい、回収された分だけお金になります。集まったお金で、車いすを買います。こう入した車いすは、近くの介こふくしし設にぞうていします。

私は、少し疑問に思ったことがあります。それは、車いす1台をこう入するのに、どのくらいのお金が必要で、どのくらいのアルミかんが必要なのかということです。

早速、インターネットで調べてみることにしました。車いす1台の値だんは、だいたい2万3千円でした。そして、アルミかんをお金にすると、1キログラムで50円~200円になるそうです。つまり、車いすを1台こう入するのに、必要なアルミかんの量は、115キログラム~460キログラムとなります。

アルミかん1個あたりの重さは、15グラムなので、およそ7660個から30660個アルミかんを集めると車いすを1台買うことができるということになります。

この数字を見て、私はとてもおどろきました。そして、「毎日、どのくらいアルミかんを持ってきたらいいのだろう」、「どのくらいの人を持ってきたら集まるのだろうか」、「今年は車いすをとどけられるのだろうか」と、とても心配になりました。

そこで、アルミかんがどうしたらたくさん集まるのかを運営委員みんなで考えてみることにしました。アルミかん回収は、運営委員だけがたくさん持ってきたらいいのではなく、全校生で力を合わせて集めないといけないという話になりました。

そのために、まず、運営委員会では、アルミかんを持ってきてくれた人にキャラクターのカードをプレゼントすることにしました。キャラクターは、運営委員が気持ちをこめてかきました。また、アルミかん回収のお願いのプリントを作って、各学年に配りに行きました。みんな真げんに私の話を聞いてくれてうれしかったです。

運営委員の活動のおかげなのか、アルミかんはコツコツ集まってきています。しかし、まだまだ車いすをこう入するためには、たくさんアルミかんが必要です。私も、西根小学校の運営委員会の一員として、これからもアルミかんを積極的に持ってきて、少しでも車いすのこう入に役に立てるようがんばりたいと思います。これが、私ができるボランティア活動です。

令和5年度ボランティア体験作文で さんと前号の さんの2人が入選しました。内容もたいへん素晴らしく、ぜひ児童のみなさんも読んでほしいと思い、掲載しました。